永田クラブ、経済研究会、文部科学記者会、科学記者会へ貼り出し

資料28-2-1-1

プレスリリース

平成２９年２月１７日
内　　閣　　府
政策統括官（科学技術・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ担当）
沖　縄　振　興　局

沖縄でのバス自動運転実証実験について

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「自動走行システム」にて、今年度実施する予定の沖縄県南城市でのバス自動運転実証実験については、本年３月２０日（月・祝）から開始することとなりましたので、お知らせします。

１．概要

SIP自動走行システムでは、自動運転技術の公共バスへの活用等について必要な技術検討等を行っていますが、内閣府沖縄担当部局における沖縄の交通環境改善に向けた取組との連携により、沖縄での公共バスの利便性向上、地域社会の活性化等を目指し、平成２８年度（今年度）から３０年度にかけて、同県でバス自動運転実証実験を推進することとしています。

現在、実験計画の詳細検討や調整・準備等を進めているところですが、その結果、**今年度の実証実験については本年３月２０日（月・祝）から開始**することとなりました。また、同実証実験の模様はご関心の方々に広くご覧頂けるよう、**インターネット中継を行う予定**です。

なお、本実証実験は、地域のコミュニティバス等での自動運転技術の活用を想定して公道にて実施するものですが、このような本格的な公共バスへの適用に向けた実証実験は全国初となる見込みです。

２．今年度の実証実験（予定）

１）　開始日　　平成２９年３月２０日（月・祝）

２）　実施予定エリア　沖縄県南城市「あざまサンサンビーチ」周辺道路

３）　主な実施内容等

- 走行ルートにおける自動運転の性能評価（正着制御の精度、車線維持制御の安定性等を検証）
- 走行状況（速度・位置等）のデータ収集・モニタリング、運行管理などに関するシステム検証
- 自動運転技術を使った公共バスの社会受容性調査　等

４）　今後の予定等

- 実証実験の模様（映像）について、インターネット中継を行います。詳細は今後、SIP自動走行システムのHP（http://www.sip-adus.jp/）に掲載予定です。

- 本実験実施にあたっては、具体的な実験条件や安全管理等について、関係者と調整の上、進めてまいります。

3. その他

平成29年度及び30年度は、実装環境に近い場所で、より高度な自動運転バスの技術実証等を実施する予定であり、その実施内容、実施予定エリア等については、今後詳細検討の上、別途公表します。

また、本取組については、関係省庁にて進められている自動走行システムの応用実装技術等の開発、実証の取組とも連携して実施してまいります。

取材可能な上記実証実験については、詳細が決まりましたら、別途案内します。

【添付資料】　沖縄でのバス自動運転実証実験の概要について

＜問合せ先＞

ＳＩＰ自動走行システムの取組、本実証実験の内容について 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 SIP 自動走行システム担当（森下、石黒、土田） 電　話：０３－６２５７－１３１４（直通） ＦＡＸ：０３－３５８１－９９６９
沖縄の交通環境改善に向けた取組について 内閣府 沖縄振興局 振興第一担当参事官室（滝澤、岩本） 電　話：０３－６２５７－１６６５（直通） ＦＡＸ：０３－３５８１－１６８３